

# 靈園だより

2011.4.Vol.13

## 巻頭エッセイ

靈園に仙台ゆかりの人々をたずねて1

加藤多喜雄（1903～1991）  
学者として構想した仙台市の2つの施設

西大立目 祥子

「加藤三兄弟」。そう聞いて、東北大学教授だった加藤多喜雄さん、加藤愛雄さん、加藤陸奥雄さんの3人の学者の名を思い浮かべる人は、仙台市民の中にいまどのぐらいいるだろう。ご年配の方なら、「いや、加藤四兄弟だよ」とおっしゃるかもしれない。仙台を離れられたが、四男の加藤磐雄さんもまた科学者だった。学都仙台が決して忘れてはならないご兄弟なのである。

しかも、多喜雄さんは化学、愛雄さんは物理学、陸奥雄さんは生物学、磐雄さんは地学と、理科4科目を兄弟できれいに分け合い活躍されたのだから、一体どんな環境で育まれたのだろうと興味が湧く。兄弟を導いたのは、中学で博物学を教えていた父、鉄治郎。植物に造詣の深かった父は、日曜のたびに息子たちを伴って植物採集に出かけたのだという。野山での自然観察が科学する心を育んだというわけだ。

ご長男の加藤多喜雄さんが亡くなつて、今年でちょうど20年になる。多喜雄さんは、明治36年、千葉県大多喜町に生まれた。大正15年に東北帝国大学理学部化学科を卒業。東京工業大学助教授を経て、昭和19年に母校の工学部教授として仙台に戻られ、41年に定年退官するまで、工業分析化学の分野で多くの研究成果を上げ後進を育てられた。

学者としての業績はいうまでもないのだが、その名は、仙台市民にとっては仙台市科学館や仙台市野草園を構想した人として親しみ深い。戦争の爪痕が残る昭和20年代後半に、仙台市に働きかけて科学館の前身のサイエンスルームを立ち上げ、のちには科学館長として展示や実験、教師指導に力を注いで、仙台における理科教育の基盤をつくり上げた。

## NEWS ニュース

- 春のふれあいゼミナール2011.4 「ガイヤシンフォニー」 映画上映会を開催します。
- 秋のふれあいゼミナール2011.10 「青葉神社片倉宮司をお招きして」 を開催します。
- みやぎ靈園永代供養墓（仮称）の建立をしています。
- 法事室が新しくなりました。ご利用ください。
- 新しい墓地区画の募集をしています。
- 中間トイレが冬期間も使用できるようになりました。

みやぎ靈園

発行：財団法人みやぎ靈園

住所：〒989-3121 仙台市青葉区郷六字大森2-1

電話：(022) 226-2440 Fax: (022) 226-3238

URL <http://www.miyagi-reien.or.jp/>

Mail:aoba@miyagi-reien.or.jp



同時期に、仙台の野山が開発され豊かな山野草が失われていくのに危機感を抱き、弟の陸奥雄さんと計らって岡崎市長に丘陵地の保護を訴えた。これがきっかけとなって、昭和29年に大年寺山に野草園が生まれている。開園から50数年が経ち、若木や野草の移植された3万坪の園は、うっそうと樹木が生い茂り季節季節に可憐な花が咲く市民憩いの場となった。

「でもね、多喜雄先生の計画はもっと壮大なものだったんですよ。ここから太白山まで続くような自然観察園を作りましたかね。お父様の影響ですね」と話すのは、長年に渡って園の充実を図ってこられた野草園名誉園長の管野邦夫さんだ。構想は20万坪。それほどの広大な土地は手に入りようもなかった。開園30周年を記念し発刊された「野草園の歩み」に寄せた文にも「狭いという心配は後まで残った。…植物の群落性が不十分である」とあり、口惜しさがにじみ出ている。科学者への道を決定づけた自然の野山での植物採集や観察を、何としても仙台の子どもたちに用意したかったのだろう。

墓碑は弟、陸奥雄さんの墓碑と並んで山並みを望む高台にある。いまも、ご兄弟で野山を散策しておられるのだと思えてくる。合掌。



墓碑は西12区

西大立目 祥子（にしおおたちめ・しょうこ）  
フリーライター。地元学の視点で仙台市内のまちや広瀬川について執筆している。著書に『仙台まち歩き』（河北新報出版センター）『仙台とっておき散歩道』（無明舎出版）。



環境配慮型店舗  
エコにこオフィス

# 年次報告

## ●定例業務

お参り送迎バス



定例理事会



芝草刈払い



園内清掃



交通警備



お墓内除草



## ●主な平成22年度業務

- H22. 3 用地造成工事着手 A  
春彼岸交通警備
- H23. 4 ガス配管取替工事 B  
お墓内巡廻除草開始  
花壇植替え
- H23. 5 ふれあいゼミナール2010
- H22. 6 待合室床張工事 C  
定例理事会
- H22. 7 法面刈払い作業  
花壇植替え
- H22. 8 造成工事検査 D  
お盆交通警備
- H22. 9 階段手摺塗装  
秋彼岸交通警備  
ガラス墓碑展示 E
- H22. 10 8区通路排水工事 F  
植木剪定
- H22. 11 永代供養墓工事着手 G  
法面刈払い作業
- H22. 12 シダレ桜植樹 H  
水子地蔵尊生垣植込工事
- H23. 1 松枯木伐採
- H23. 2 廊下・階段床張工事



みやぎ霊園ホームページ



らくじゅえん

# 樂壽園

(「郷六御殿」の雅号)

ごうろく  
城北の郷鹿村に在り。

こうりゅう  
斯の地や江流其の左に遡り、

そばた  
断崖其の前に峙つ、

かこ  
山岳其の右を環み、

つつ  
平田其の後を擁む。

其の土は梅樹に宜しく、

よ うう すこぶ  
仍って古来農家は之を植ること頗る多し。

すなわ  
春時に到れば則ち

せいこう ゆうほう  
所として清香・幽芳ならざる無し。

うめむら  
里人は梅邑と呼び、

ある うめさと  
或いは梅郷と称せり。

ていう  
貞享四年丁卯八月十三日、

かく  
綱村君は始めて佳区の地を知り、

えんゆう  
民居の四家を移して園囿の所の為す。

(中略)

ほしん  
明年戊辰の春三月に到り、

ようや  
稍く其の事を成し

らひほん  
号して樂壽園と曰う。

けだ これ  
蓋し諸を仁知の山水に取る者か。

(中略)

これ せんたい  
是より花の時の東藩に在る毎に、

しょうようゆうかん  
逍遙遊観し此を以て例と為す。

ゆうち ふうりゆう  
幽致・風流の設と謂うべきなり。

(以下、続く)

「樂壽園」は仙台城の北の郷鹿(郷六)村にあります。

この地域では広瀬川がその左側に曲がっており、

西青葉のけわしい崖がその前に切り立っており、

青葉山の高い山々が右側を取りまいており、

郷六の平らな田んぼがその後側を抱いています。

この土地柄は梅の樹がとてもよく育つので、

昔から農家では梅をたくさん植えてきました。

春の季節になればここではすぐに

どこの家でも清らかな香りを漂わせた花が咲き乱れています。

ここの人たちは「梅がきれいに咲く村」とよび合い、

あるいは「梅の名所の郷」とほめたたえておりました。

貞享四(1687)年の旧八月十三日に、

綱村公(四代)が初めてこの美しい地区のことをお知りになられ、

住民の四軒をよそに移し、そこを花園と鳥獣保護区にしました。

(中略)

翌年(1688)の春三月になって、

ようやくその工事が完成し

そこを『樂壽園』と名づけました。

この名は「仁者は山を楽しみ、知者は水を楽しむ」という

『論語』から取った名前であります。

(中略)

その後、梅の開花時で、綱宗公が仙台におられるたびに、

樂壽園にお出でになり散歩されることが例となりました。

ここは奥深くて優雅な趣のある樂園といいうことができます。

みやぎ靈園は、郷六の地にあります。

約300年前の藩政時代から、郷六は優雅な樂園として親しまれていました。

(背景写真は、昭和30年代の郷六風景)

奥羽觀蹟聞老志(おううかんせきもんろうし)

県指定有形文化財(書跡・典籍) | 仙台市泉区 | 宮城県図書館蔵

仙台藩の史官・画工を勤めた佐久間義和(洞巖)が四代藩主伊達綱村の命を受けて編さんし、着手し、享保4(1719)年に完成させた地誌である。

本資料は仙台領を中心にしながら、対象を奥羽他領の主要地にも広げ、官制、土産、旧所名蹟、神社仏閣、名勝、故事などを詳細に記述し、古歌・古文や風習の採録にも留意したもので、本県を中心とする地域の地理・歴史・風俗・産業等の情報を豊富に伝える優れた記録となっている。

意訳: 千葉 仁 (青葉区折立在住)  
元仙台市立仙台高等学校校長  
郷土史俱楽部副会長

## みやぎ靈園の法事室が新しくなりました

納骨法要・回忌法要など皆様のご都合にあわせてご利用ください。

要予約 Tel 022-226-2440

料金 525円/人 (30名様まで)

\*彼岸・お盆の繁忙期はご利用できません



法事室→

←お客様控室

提携している周辺の法宴施設

### 料理仕出し

一燈明 みぶな	0120-155-327
魚長	022-263-7131
味の金魂	022-277-1041

### ご会食施設

仙台 勝山館	022-213-9188
伝承千年の宿秋保温泉 佐 勘	022-398-2233
青葉城 本丸会館	022-222-0249
懐石料理 東洋館	022-222-7019

・お申込みの際にみやぎ靈園使用家とお伝えください。

## 墓地管理料について

ご使用家様で管理していただく墓地の内を除き、待合室や緑地植栽、園内共有部分の施設管理や事務管理などの靈園運営に要する費用は、皆様にお支払いいただく管理料によってまかなわれています。  
管理料は、所定の期日までにお支払くださいますようお願いいたします。

## 霊園内でのお願い

- 大切な墓地内に雑草が根付いているのを見ることができます。お墓を清潔に保つために、お掃除や草取りにお出かけください。
- お墓参りの折に、お菓子や果物などのお供物を置いておくと、腐敗しカラスや蜂が集まり、墓地や墓石が汚れてしまいます。墓地を清潔に保つため、ご面倒でもお供物はお持ち帰りください。

## お墓内の除草について

皆様のお墓内部は、ご使用家様で管理いただいておりますが、管理事務所では清掃活動の一環として、お墓内の草取りサービスを実施しております。5月～9月の間、作業員が巡回して除草をいたしております。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 更地でご利用の方へ

長い期間更地のままで、雑草が根付いている区画に気付くことがあります。墓地区画を更地でご利用されている場合は、使用範囲の区画を明らかにするために、墓地契約日から2年以内に外柵まではお建ていただくようお願いをいたしております（靈園使用規定第8条）。ご協力をお願いいたします。

## 各種手続について

### ●名義変更

名義を変更される場合は、永代使用許可証、名義変更申請書、戸籍謄本（新旧名義人の関係がわかるもの）が必要です。

### ●住所変更のお届出はお早めに・・

お引越しなどで住所が変更した場合は、管理事務所までご一報下さい。

### ●各種証明書発行

納骨・改葬・分骨など必要に応じて各種証明書を発行いたしますので、管理事務所にお申し出ください。

### ●納骨手続き

納骨に際しては、管理事務所への届出が必要です。事前に日時をご連絡ください。

### ●墓地の返還

お引越しや改葬等、諸事情で当園の墓地が不要になった場合は、墓地永代使用権をお返しください。墓地返還の手続きが必要です。詳しくは管理事務所にお問い合わせください。

連絡先 管理事務所 (022) 226-2440

## 車上盗難にご注意ください

駐車中に、貴重品盗難の被害にあう方がいらっしゃるようです。車内の見えるところにバッグなどが置いてあると、鍵をかけていても窓ガラスを割られることがあるようですので、車上あらしには十分お気をつけください。

## 僧侶のご紹介

ご納骨やご法要などに際して、ご僧侶を紹介いたします。管理事務所へご相談ください。



## 本年度の募集 ~ふれあいゼミナール~

平成23年4月23日（土）第13回

「地球交響曲ガイアシンフォニー」映画上映会

上映時間①10：30～12：40 ②14：00～16：10

会場：仙台メディアテーク7階スタジオシアター

募集：200名（先着順）無料

平成23年10月22日（土）第14回

「青葉神社片倉宮司をお招きして～笙の調べとともに～」

講演時間 13：30～15：30

会場：市内施設

募集：50名（先着順）無料

お申込みは返信葉書にて

## 昨年度の報告

ふれあいゼミナール2010.5 第12回

漢詩の世界～幽遠な二胡の調べ～



佐竹保子教授



多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。